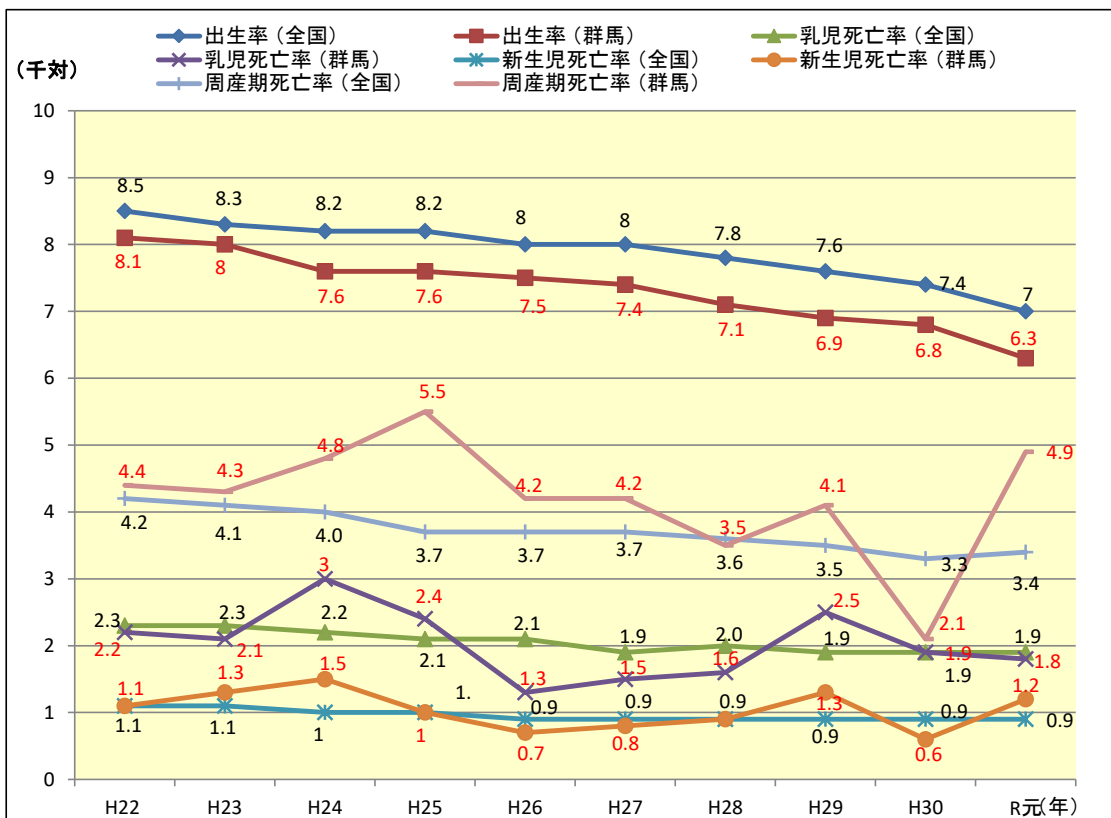


第7章 生涯を通じた女性の健康

妊産婦死亡数は、平成21年以降は平成24年を除くと0である。
人工妊娠中絶数は年々減少していたが、平成29年は微増(+8件)となった。
喫煙者率は減少傾向にある。特に、女性については前回(平成28年)より2%減少している。
医師、歯科医師に占める女性の割合は、全国と同様の推移で少しずつ増えている。

1. 母子保健関係指標の推移

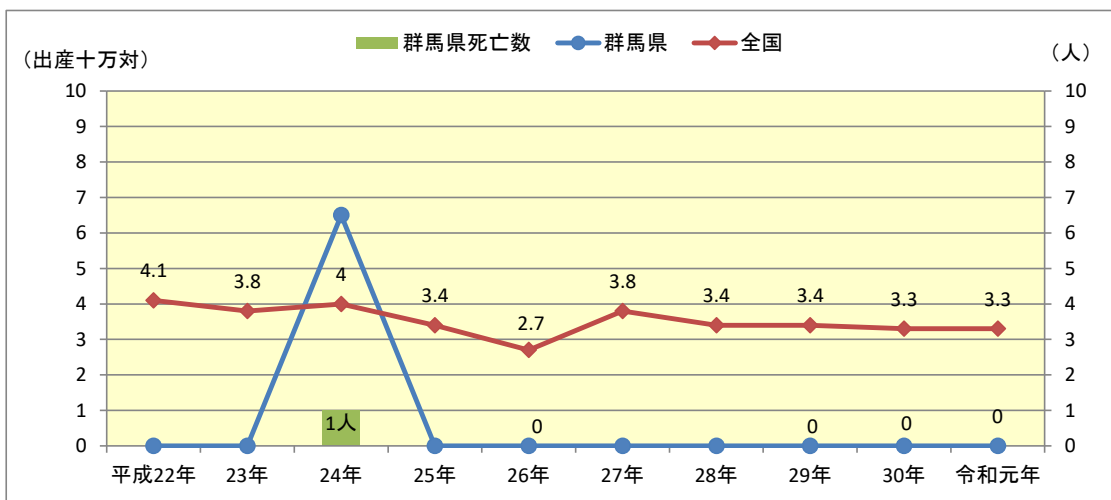
(1) 出生率・乳児死亡率・新生児死亡率・周産期死亡率



(備考) 厚生労働省「人口動態統計年報」より作成。

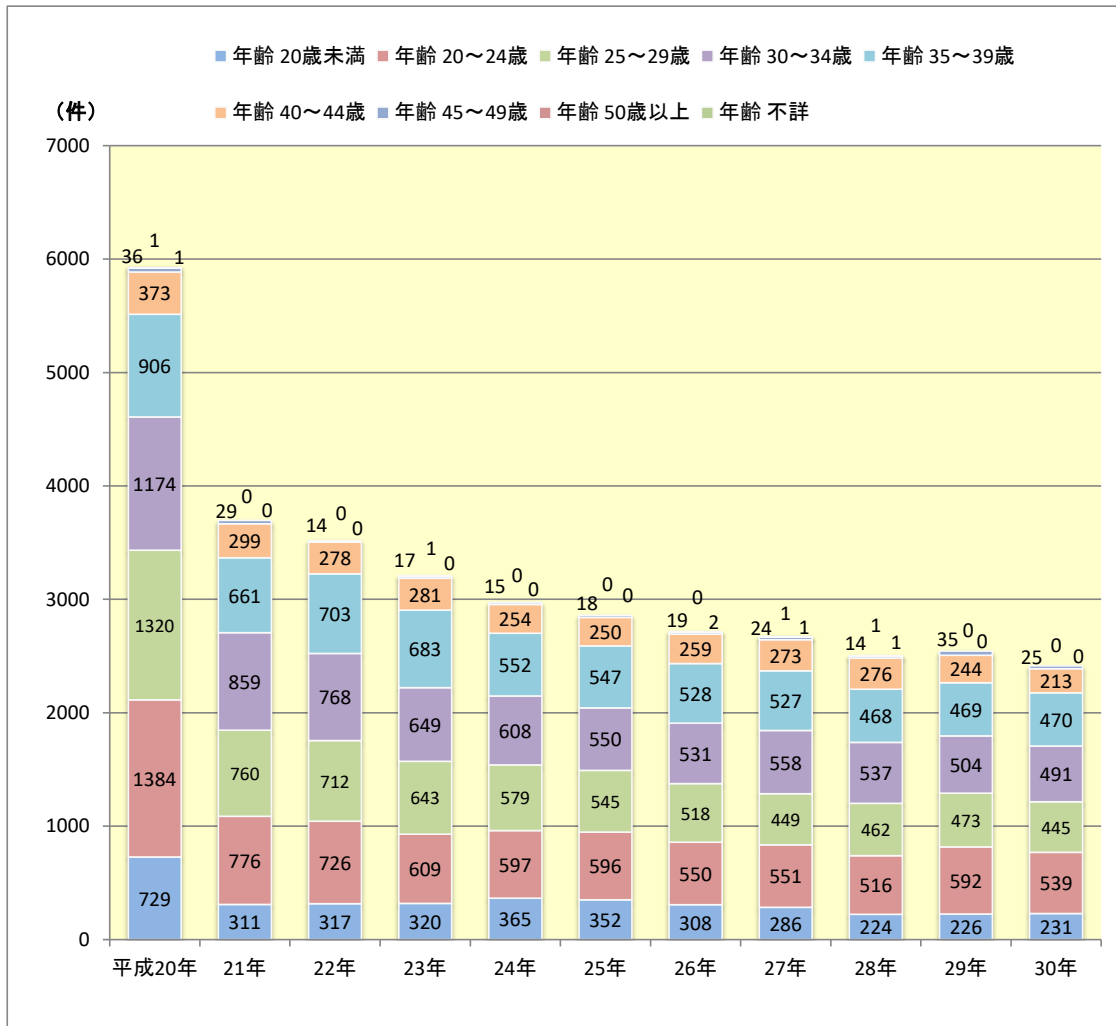
(注) 出生率(人口千対) / 乳児死亡率(出生千対) / 新生児死亡率(出生千対) / 周産期死亡率(出産千対)

(2) 妊産婦死亡率(出生10万対)



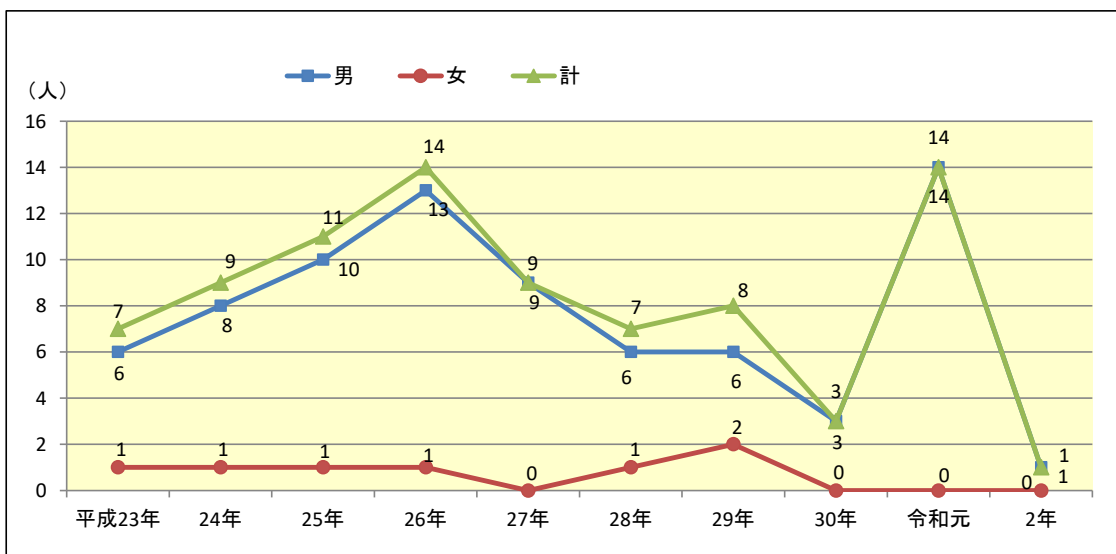
(備考) 厚生労働省「人口動態統計年報」より作成。

2. 年齢階級別人工妊娠中絶の推移(群馬県)



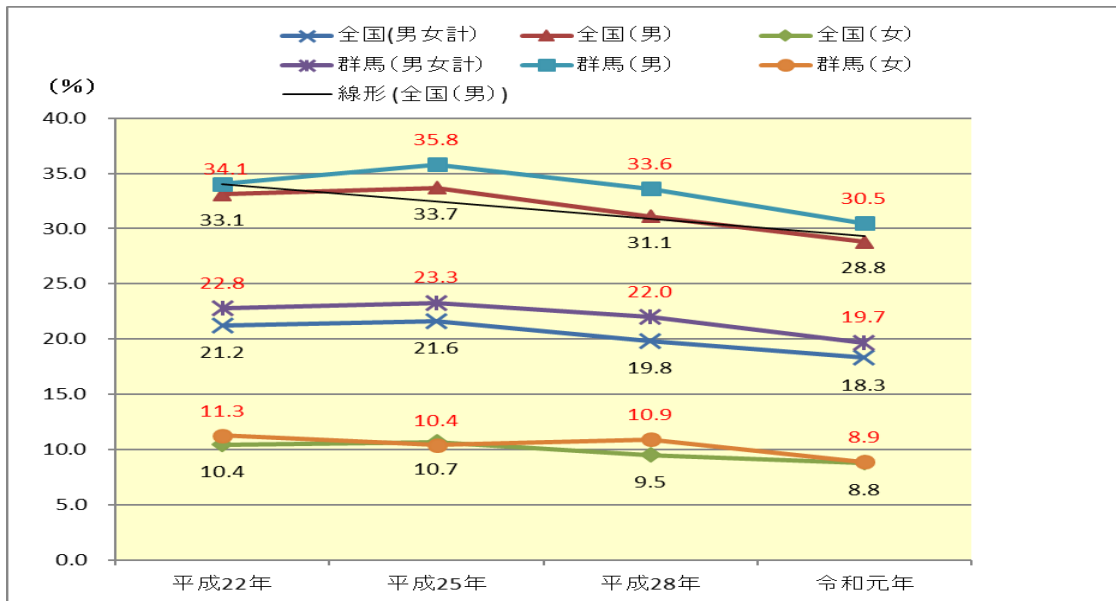
(備考) 群馬県統計年鑑より作成

3. HIV感染者の推移(性別・年齢別)(群馬県)



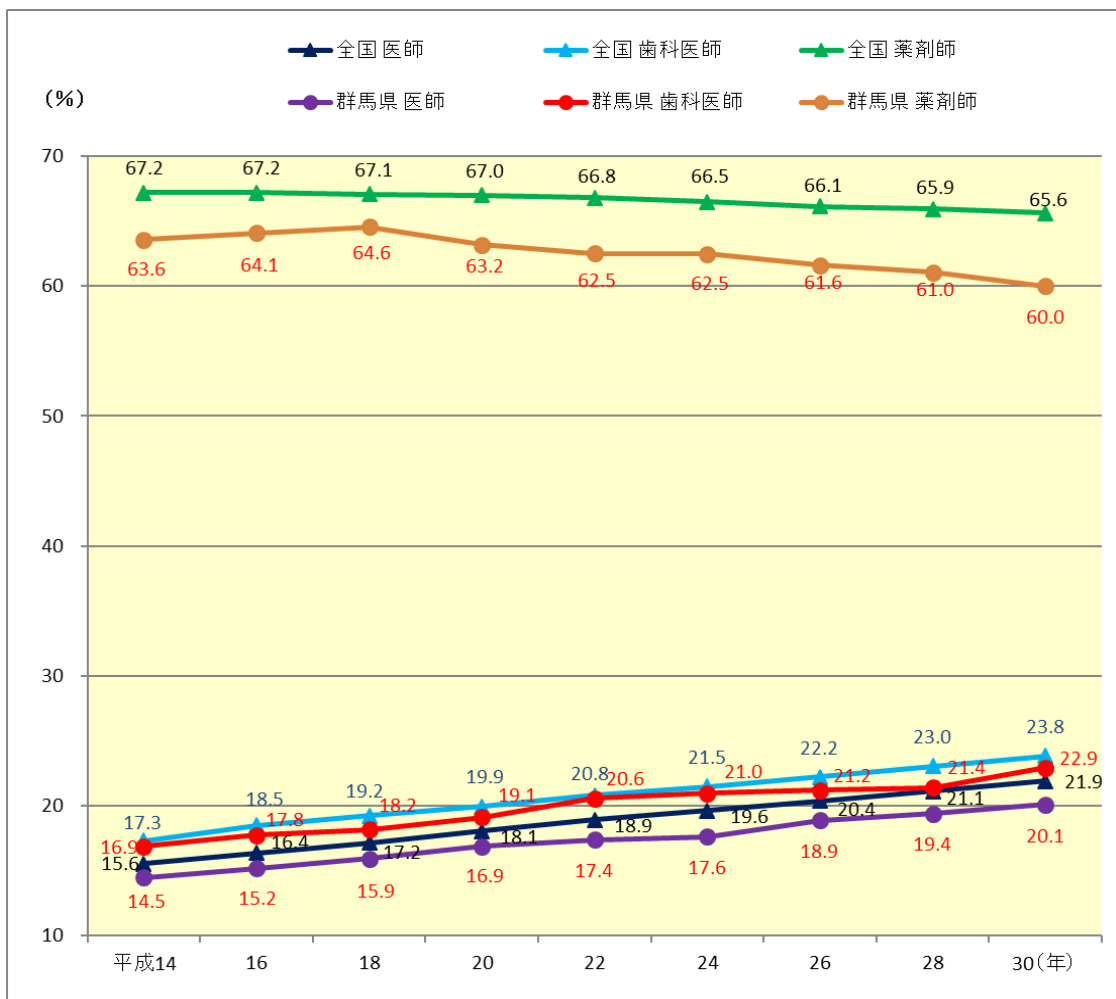
(備考) 群馬県保健予防課資料より作成。

4. 喫煙率の推移(性別・年齢別)



(備考) 国立がん研究センターがん対策情報センター「都道府県別成人喫煙率(データソース: 国民生活基礎調査(厚生労働省))」より作成。
 * 20歳以上で「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と回答した人数の合計を分子として、「総数」を分母とした割合(入院者は除く)

5. 女性の医療施設従事医師、同歯科医師、薬局・医療施設従事薬剤師の割合の推移



(備考) 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より作成。